

I

■出題のねらい

同じ趣味の人の集まりを探すためのインターネットサイト (Groupmeet.com) をめぐる会話の問題です。長い会話で、設問、選択肢もすべて英語ですが、落ち着いて読めば、内容理解は難しくはないはずです。□1 は、free に「無料」の意味があると知っているかどうかのポイントです。

□2 の jump the gun は「スポーツでフライングすること、合図より先に飛び出すこと」の意味ですが、そこから比喩的に「物事を早くやりすぎる」の意味で用いられます。この表現自体を知らなくても、前後の文脈から正答を選ぶことは可能だと思います。□3 の Fancy coming along with me? は、「一緒に来たいかい」と相手の意向を聞く表現です。□4、□5 は、この会話で述べられていなかった選択肢を選びます。何が言われていたのかを適切に理解していれば難しくはありません。□6 は、全体の会話を適切に理解しているかどうかを見ました。

■採点講評

□1 は、よくできていました。□2 の正答率が低かったのですが、jump the gun という表現を知らなくても、この下線部の後に「自分はまだイベントに参加したこともない。(それなのに) 企画者になるのは早すぎる」と言っていますから、「まだ自分は準備が出来ているとは思わない」という選択肢①が正答になります。□4 の正答率も低かったです。Diana は Groupmeet.com のプロフィールのために写真を撮ったのではなく、昨年 Mount Orange で撮っていた写真を使ったということでしたので、選択肢④が正答です。最後の□6 の正答率も低かったです。選択肢で述べられていることが、会話の中で述べられていたかどうか1つ1つ確認していくことが重要です。

II

■出題のねらい

父親の育児への関りを問題にした英文です。□7 の wrinkle は「しわ」という意味で覚えている受験生が多いと思いますが、「ちょっとした問題」を意味することがあります。この意味を知らなくても、「パートナーが仕事をしていない時でもほとんど家事を手伝わないと報告している母親が3分の1近くいる」ということから、この語がよくない意味を表す語だとわかってほしいところです。□8 は、「家事を手伝う」と正しく理解できているかどうかのポイントです。

□9 は、家事の分担の問題がテーマである英文だと分かっていたら正答できると思います。

10 は整序問題ですが、「～すればするほど～になる」を表す「the 比較級～、the 比較級～」の構文を理解しているかどうかポイントです。11、12 は、書かれていることを適切に理解しているかどうかを見ます。

■採点講評

7 の正答率が低かったです。“wrinkle”の「しわ」の意味からの類推と英文全体で男性の育児への関りが少ないことを問題にしていることから、選択肢②problem が正答でした。9 についても、男女で育児を分担することがこの英文のテーマだということから判断して、選択肢③sharing が正答になります。10 の「the 比較級～、the 比較級～」の構文はよく出てくるので覚えておきましょう。11、12 の英文の内容に合うものを2つ選ぶ問題では、2つとも正答を選んだ受験生は20%以下でした。選択肢⑤を選んだ受験生が何人かいましたが、英文の中で日本の女性の方が睡眠時間は短いと書かれていましたが、それは外国の女性と比べてのことで、日本の男性と比べてのことではありません。

III

■出題のねらい

ピクニックの計画を立てている会話で、前半と後半に分かれています。13 は時制の問題です。14 は同じような意味の動詞が選択肢になっているのですが、この中で give だけは「飲み物を手に入れる」という意味にはなりません。15 は、they が指すのは Jim と Kate で、make it の内容は、文脈から「ピクニックに行くこと」になります。16 は、よく似た意味の選択肢が並んでいますが、語法としてここに入るのは else のみです。17、18 では、会話の内容を細部まで正確に理解できているかどうかを見ました。

■採点講評

正答率が低かったのは、16、17 でした。16 の“what else”（他に何が）はよく耳にする表現ですので覚えておきましょう。17 では、選択肢①は、まだ入れていない「お皿とフォークが既にバスケットに入っている」という点、選択肢②は、Bill は既にシートは手に入れているので「Bill はシートがどこにあるのかわからない」という点、選択肢③は、Amy はピクニックバスケットを両親からもらったのであって Bill にももらったのではないので誤りになります。正しく事実関係を捉えていれば正答できたと思います。18 の正答率は50%でしたが、会話で示されている事実関係を適切に理解して入れれば正答できる問題だったと思います。

IV

■出題のねらい

香川県出身の歌手が、讃岐うどんに対する自分の思いを他の麺類について触れながら語っています。[19]、[20] は、前後関係から判断して適切な語を空所に入れる問題です。[21] は、下線部 **firmness** のすぐ後に **chewy** という語が出ていますので、そこを見逃さないかどうかを見ました。[22] の **udon-sick** は **homesick** と同様に「目の前にないものが欲しくてたまらなくなる」ということを理解しているかどうかを見ました。[23] の **why don't you…?** は、「～してみたらどうだ」と相手に何かすることを勧める表現です。[24] は、**help** に「止める」の意味があることと **it** の指す内容を理解していれば正答できるでしょう。[25]、[26] は、細部まで適切に英文の内容を理解しているかどうかを見ました。

■採点講評

[22] の正答率が低かったです。「ホームシック」という日本語も知っていると思うのですが、類推できなかつたようです。[25]、[26] の英文全体の内容を聞く問題も正答率は低かったです。[25] については、選択肢①は、歌手になる前に毎日うどんを食べていたわけではない点、選択肢②は、**rice bowl** である点、選択肢③は、英文でまったく述べられていないことが誤りです。したがって、正答は選択肢④でした。[26] は、著者はラーメンも食べるし、ラーメンについては、あっさりとしたうどんとは反対のラーメン（豚骨ラーメン）が好きだと言っていることから判断すれば正答できると思います。